いわむら

発行所　岩室村役場　No.13
印刷所　巻・北洋印刷KK

どんな寝相でも熟睡する

5月1日はメーデーであり，日本では一年中で一番気候のよい緑の風かおる5月，子供の月でもある。成長の盛んな思春期12〜16才頃の子供は春に大変眠たがり，教室でも居眠りをする。これはいろんな刺激を鋭く受けとるこの時期には神経疲労が強く眠気を誘うおだやかな春の気候と重なつて彼等の瞼を重くさせる訳。別に病的ではない。又，日本には妙な寝相の迷信があつて左下とかうつぶせにねてはいけないといわれるが一晩に20回も30回も寝返りをうつ人間の眠りで始めの寝相をとやかくいうのはこつけいである。どんな寝相でも熟睡できれば良い。

農業構造改善事業の推進について

新潟県下においても既に三十七年度農業構造改善事業の指定を受け、数ケ市町村が事業にとりくんでおります。指定をうけていない市町村もこの事業に対して慎重な検討を進めている状況でございます。本事業推進については今後の課題である農業近代化に対する深い認識と、農業従事者の自由な意志と創意工夫がもととなるものと信じます。農業構造改善について農業協同組合等農林団体からも充分な検討を加えていただきたいと思います。村としても基礎的資料を逐次整え検討審議を行ない、将来の岩室村農業の進むべき道の方向づけをしたいと考えるので、村民の御理解と御協力をお願い致します。

○農業構造改善事業のねらい

農業構造改善事業は、昭和三十六年六月成立した「農業基本法」の精神を具体的に実現するために、行なわれる諸施策の中でも一番重要なものの一つです。

農業の生産性が他産業の生産性と比較してみた場合、著しく劣っている主な理由は資本装備がおくれていること、余った労働力がスムーズに他産業へ移ってゆけない状態の中にあること、その他流通価格など機構を含めた生産体制が全体的におくれているために、新しい農産物の需要増加に追いつけない状態にあることが考えられます。

このような現象の根底には、「経営の零細性」すなわち資本と土地の規模がきわめて小さいという問題があります。

そこで農地の合理的な保有を図り、農業経営の近代化を推進することによって農業構造の改善をおこない、あわせて生産の選択的拡大を達成することが必要になってきます。

このような農業構造の改善を図るための有力な政策の一つとして「農業構造改善事業」が取り上げられたわけです。この事業は市町村がその地域の実情に即して自主的、統一的に樹てた農業構造改善計画にしたがって、①農業生産基盤の整備開発②農業経営近代化施設の導入③環境の整備など農業構造改善に関して、必要な事業を県の協力の下に国が財政的技術的に援助しつつ行なおうとするものです。

このような事業を総合的、有機的に行なうことによって農業技術の革新と、農業生産の選択的拡大を図りながら自立経営を育成し、協業を助長しようとするところにこの事業のねらいがあるわけです。

○農業構造改善事業のしくみ

農業構造改善事業は工業化予定地域などを除いた約三、一〇〇市町村について約一〇年間にわたって行なわれることになっており、毎年対象地域を指定することになっています。

これを構造改善事業の一般地域と称します。その外この事業を円滑に推進するための展示的な拠点として事業の早期実現と、普及のために特に部落単位で農業構造改善事業パイロット地域を設け、濃密な指導助成を行なうことになっています。

三十七年度の指定地域は一般指定二〇〇とパイロット地区九十一の予定になっており、事業の助成は国の計画では全国平均一地域当り一億一、〇〇〇万円以上になっています。

そして例えば事業計画が一億一、〇〇〇万円の場合には、三ケ年間に九、〇〇〇万円を補助の対象とし、その半分四、五〇〇万円に補助金を交付し残り四、五〇〇万円を公庫資金と農業近代化資金で優先的に融資し、更に補助の対象にならない二、〇〇〇万円については、公庫資金と農林漁業資金を融資することになっています。

パイロット地区の事業計画の規模は、全国平均七、五〇〇万円以上ということになっています。

そのうち六、〇〇〇万円は補助の対象とし補助金額は五割つまり三、〇〇〇万円であり、残りの三、〇〇〇万円と補助の対象とならない一、五〇〇万円はやはり公庫資金と農林漁業資金で融資することになっています。先にのべた数字は全国平均のものです。

農業構造改善事業の中には補助事業と融資単独事業という資金裏づけ上の二つの事業区分があり、補助事業は補助金と融資によって資金的に裏付けされ、融資単独事業は融資のみによって資金的に裏付けされています。

国の補助の対象になる事業（または施設）には、土地基盤整備事業と経営近代化施設（共同施設）があり、その五割以内が補助金によって賄われ補助金を受けなかった五割以上を「補助残」といいますが、この部分に対して公庫資金と農業近代化資金の優先的な融資がなされるわけです。

公庫資金では土地基盤整備事業が、農業近代化資金では経営近代化施設（共同事業）が融資対象になります。

特認事業と称してその地域の特色と農業構造の基本構想に即して緊要度と効率の高いと思われる事業について補助事業として特例が認められます。

補助の対象にならなかったもので計画の中に含まれる事業「融資単独事業」は公庫資金と農業近代化資金によって融通されることになっています。

この部分の融資額は全国平均で、一般地域は二、〇〇〇万円（うち公庫資金二〇〇万円農業近代化資金一、八〇〇万円）パイロット地区は一、五〇〇万円と想定されています。

農業構造改善事業で事業毎に事業主体となれるものは土地改良区、農業委員会、農業協同組合、市町村、共同施行者、農事組合法人、農業生産法人、利用組合等であります。具体的に補助金の対象となる事業内容については、別に印刷し各農家へ配布の予定でありますので御参照いただきたい。

県平均に及ばなかった投票率

四月十七日に執行された新潟県議会議員選挙は、恵まれた天候と選挙民の出足も順調であったため、当日は投票率の上昇が予想されておりましたが、開票の結果は予想に反し、本郡の平均である八三、五五％、及び県の平均八三、三五％をいづれも下廻る七七、七九％と至って低調に終りました。今回の選挙は下廻った投票率でしたが、私共に与えられた選挙権行使の権利は、いかなる選挙に於ても無駄な結果に終ることのないように今後の選挙に望みましょう。

4月17日執行新潟県議会議員選挙投票率

区分	第一投票所 原，大岩富蔵宅	第二投票所 和納小学校	第三投票所 夏井公会堂	第四投票所 岩室小学校東校舎	第五投票所 西船越事務所	第六投票所 石瀬公会堂	第七投票所 岩室公会堂	第八投票所 間瀬支所	村の平均投票率
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
男	83.50	92.13	94.94	87.80	85.61	83.92	85.68	44.77	78.82
女	76.64	83.56	82.63	75.64	77.44	80.10	79.63	70.52	76.94
平均	79.81	87.50	88.59	81.09	81.19	81.87	82.26	59.25	77.79